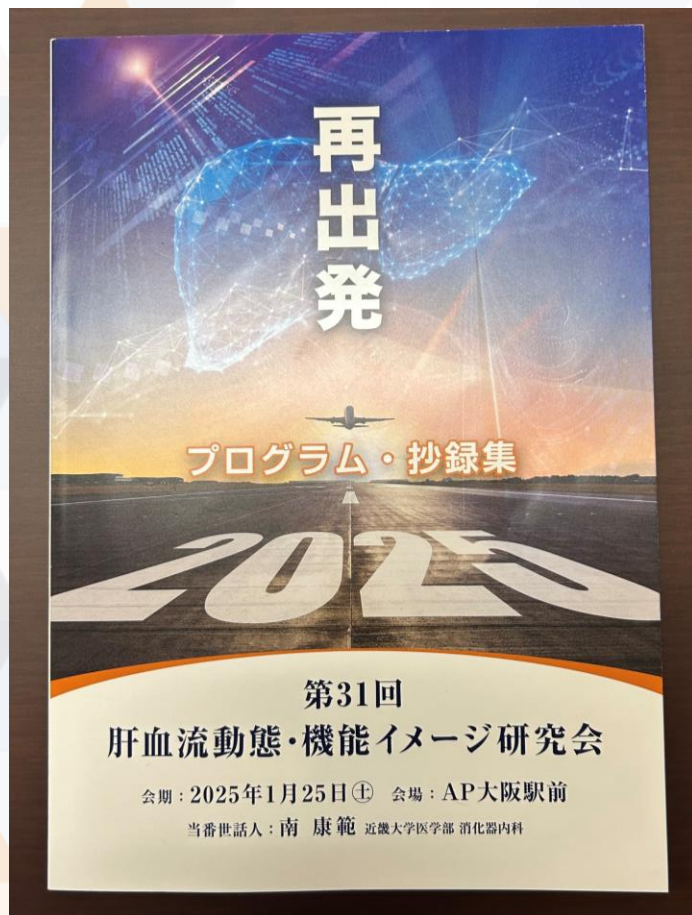


## 第31回 肝血流動態・機能イメージ研究会で

尾島は病理コメンテーター、白川は一般講演1『肝血流と肝腫瘤』で発表しました。



肝血流動態・機能イメージ研究 (<https://kanketsuryu.org/>) は31回から医師主導の研究会として新たにスタートしました。

その記念すべき第31回研究会は近畿大学医学部内科学教室の南 康範先生が当番世話人を務められ、『再出発』と銘打って大阪で開催されました (<https://www.congre.co.jp/kanketsuryu2025/>)。

多くの先生方が全国から集結され、本研究会の伝統でもある、熱いディスカッションが繰り広げられました。

一般演題やシンポジウムのほか、教育セッション、スポンサードセッション、共催セミナーなど多彩なプログラムが行われ、新たな幕開けにふさわしい大変充実した内容で、今回も勉強になりました。(尾島)

## 一般口演1『肝血流と肝腫瘍』

### 「腹部造影超音波検査により早期静脈灌流が示唆されたFNHの1例」



早期静脈環流を認める肝腫瘍でFNHを疑うも、造影USでwash out所見があり、悪性を否定できず切除した症例について、偽wash out所見の原因について、考察しました。会場からは多くのsuggestion をいただき、有意義な発表となりました（白川）。